

1. 学校の教育目標

地域医療・地域福祉の最前線を担う即戦力となる人材を育てる

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

提案から行動へ

～日々新しい事態が展開していくなかで、教職員の総力をあげてそれらの事態に対応したい～

具体的方法

- ・誰もが提案できる
- ・誰もが提案を聞くことができる
- ・誰もが提案を行動化することができる
- ・誰もが振り返り、次の提案をすることができる

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) . 教育理念・目標 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題及び改善策
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	4	<p>・法人理念のもと、学校の目的・育成人材像を学生便覧・パンフレット・ホームページに明記し周知を図っている。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため入学式を中止。例年開催していた入学式後の保護者説明会も開催できなかった。そのため入学式式辞・祝辞を通して本校の存在理由や学習の目的・意味を示すことができなかった。また、年度当初の2か月はZoomでのオリエンテーション、授業ではあったが、その中で意図的に理念等の周知を図った。一方保護者に対しては、対面での保護者懇談会等は開催できなかったものの、8月にはZoomによるオンライン保護者会を開催した。その時その時でできる工夫をし、本校理念を学生・保護者に伝える努力を重ねたが、結果として十分に伝えられなかった。さらに対面授業再開後には意識的に学生に対して個別面談を行った。しかし、一部の1年生の中には学習の目的が持てず、その場限りの学習に留まる傾向がみられた。</p> <p>・今後は入学当初対面での行事・授業を実施できない場合の影響について整理検討し、入学式後もしくは早期に対面による保護者説明会を開催していきたい。</p>
・学校における職業教育の特色は何か	4	4	
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4	
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	3	3	
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4	
<p>【学校関係者評価】</p> <p>新型コロナ禍で始まった年度に生じた非対面での課題について整理し検討してほしい。その際、検討の対象を学生・保護者に限定せず教職員のストレスについても併せて検討してほしい。</p>			

(2) . 学校運営

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題及び改善策
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4	<p>・毎年、法人として事業計画を立てて、それに沿って運営している。また、諸規定により、意思決定機能が明確化している。</p>
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4	
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	3	

・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	4	
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4	
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4	・業界とは教育課程編成委員会と学校関係者評価委員会及び各業界団体への参加により、よりよい活動を目指している。 ・学校評価については、2020年度に学則に記載した。
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4	・学校概要、前年度自己評価・学校評価を学校HPにおいて公表している。また、教育活動の情報発信は、ホームページ、パンフレット、サンビ便りを通して行っている。
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4	・教務事務、実務者研修を中心にITツールを用いた業務効率化を検討し、ペーパーレス化を進めているところである。今後は、グーグルクラスルームの導入し、教育の充実、業務の効率化を図りたい。
【学校関係者評価】			
IT化できるものは早期に実現して、社会に出て必要となる人との関わりの教育に力をいれたら良いと思われる。			

(3) . 教育活動

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題及び改善策
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4	・教育内容、到達レベルについては学生便覧pp.6-9、およびシラバスにより明確にしている。また、学科学年の特性を踏まえ、授業の追加、補講等を実施し、到達目標レベルまで、引き上げるよう工夫している。また、授業に関する見直しなどは、教職員の振り返り、学生面談のみならず学生アンケートを実施し、学生の真のニーズをつかむよう工夫した。また、その結果は学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会の会議にて説明及び検討し、幅広い意見を取り入れ、よりよい教育活動の実践を心がけている。 ・例年行っていたリハビリセンター白鳥との会議（2カ月に1回）は新型コロナ禍において定期的な開催ができず、随時必要最低限の関係者のみで行わざるをえなかった。
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4	
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4	
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4	4	
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4	
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4	
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4	
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4	
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4	
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4	
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4	・国語力に課題のある学生に対しては、学科ごとに個別で評価し、指導を行っている。また、留学生の日本語教育については11月より元中学校長で、在外日本語学校長経験者に依頼し、指導して頂いている。今後は、すべての学習の基盤になる日本語教育の充実を日本人・留学生の区別なく学校全体で取り組んでいきたい。
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	3	・授業評価については、教員間の授業参観、学校関係者評価委員の授業参観を通して行った。今後も、継続していきたい。
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3	・教員確保については、校長・総学科長を中心に学校全体として実施している。医師担当分野で確保に苦慮している。 ・各学科単位で随時行われる打ち合わせ等において、学生の特性を理解するための課題検討を随時行っている。

<p>・職員の能力開発のための研修等が行われているか</p>	3	3	<p>・オンライン授業を開始するにあたり基本操作を教員同士で研修した。また、各学科でのオンライン授業の工夫を教職員会議などで共有した。</p> <p>・新型コロナ禍で実習調整に追われたことや多くの研修会の中止もあり、研修の参加が例年に比べ極端に少なかった。</p> <p>・今後については、今年度新型コロナ禍の中で起った課題を整理し、感染拡大時を想定した教育計画を立てる。また、授業外の個別指導を効率化し、その結果生み出された時間を授業準備、教材研究、研修に向けていきたい。特に国語力については学校全体としての取り組みにしていきたい。また、次年度は学科ごとで授業研究を実施し、その結果を教職員会議で検討していきたい。</p>
<p>【学校関係者評価】 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。</p>			

(4) . 学修成果

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題及び改善策
・就職率の向上が図られているか	4	4	・就職率100% 国家試験合格率は介護福祉学科、作業療法学科では100%を継続している。
・資格取得率の向上が図られているか	4	4	・入試内容の検討、国語基礎力向上への工夫及び学生面談さらには保護者との連携を図り退学率の低下に取り組んでいる。
・退学率の低減が図られているか	4	4	・卒業生の状況をおおよそ把握している。他校に比べ就労、在宅分野で活躍しているものが多い印象がある。
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4	・今後は卒業生の活動を、学校教育へ活かすため、引き続き卒業生の就労状況の把握と整理に努めたい。今年度は就労支援分野で活躍している卒業生の講演を実施した。
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	4	
<p>【学校関係者評価】 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。</p>			

(5) . 学生支援

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題及び改善策
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4	・学籍簿、個人記録、健康記録を整理している。担任制を敷いているが、あくまでも窓口と考え、学生がいつでもだれにでも相談できるようにしている。また、経済的な相談・生活相談については、奨学金担当者が併せて行っている。
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	4	・信頼できる不動産業者のアパート情報を学生に提供している。
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4	
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4	
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4	
・学生の生活環境への支援は行われているか	3	3	
・保護者と適切に連携しているか	3	3	・保護者には学校の教育理念を理解して頂いたうえで、学生の自立促進を目指し、保護者との連携を図っている。
・卒業生への支援体制はあるか	3	3	・卒業生への支援体制としてはないが、相談に来ることが多く、その都度積極的に対応している。今後は、卒業生に必要な情報をホームページに作成し、また卒業生の卒業後教育については各士会と連携をさらに強化していきたい。
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3	・各県士会と連携し、卒業前に職能団体の活動意義について説明する機会を持ち、卒業後の生涯学習への意識を高めるように工夫している。

<p>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</p>	4	4	<p>・新型コロナ禍によりインターシップを実施することができなかったが、高校などに医療福祉職の紹介や出張講義を行い、より多くの学生が福祉に関心を持つように工夫している。また、県と言語聴覚士会として高校に啓発活動を行っているが、学校として協力している。</p> <p>・介護福祉士の魅力についての広報、啓発を行政及び地域を巻き込みながら行い、介護福祉士不足解消に向けて努力していきたい。</p>
-------------------------------------------------	---	---	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【学校関係者評価】
 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。
 自己評価では新型コロナ禍ではじめての留学生受け入れについて述べられてはいなかったが大変であったと思う。今後は課題を整理し、進めていってほしい。

(6) . 教育環境

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題 及び改善策
<p>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p>	3	3	<p>・全館Wi-Fi整備し、学生がいつでも情報を入手し、授業でも活用できる環境を整えている。</p> <p>・教育機器（PC）の計画的な更新を行っている。</p>
<p>・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</p>	4	4	<p>・感染症拡大の影響で多くの実習施設が受け入れ中止となる中、法人関連施設の協力を得て実習施設を確保し、極力学内実習の割合の低下を図った。</p> <p>・実習可能となった場合でも、新型コロナ禍のため指導者と対面で目標共有したり、学生情報を共有ができず、対応に苦慮したことがあった。</p>
<p>・防災に対する体制は整備されているか</p>	3	3	<p>・防災対策の現状整理を行ったものの、新型コロナ禍のため、防災対策が後回しとなった。早急に整備していきたい。</p>

【学校関係者評価】
 防災を除き自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。
 防災に関して、少なくとも授業中に災害が発生した場合の具体的対策を早急に設定してほしい。

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題 及び改善策
<p>・学生募集活動は、適正に行われているか</p>	4	4	<p>・学生募集は、誇大表現することなく適正に行っているが、教育成果を伝えきれていない。学納金は、募集要項に記載したもの以外徴収していない。学納金については全国的にみて、最も安い学校に位置している。</p>
<p>・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p>	3	3	<p>・新型コロナ禍でも現場を持っていることで実習を実施できた強みを今後の広報に活かしていきたい。</p>
<p>・学納金は妥当なものとなっているか</p>	4	4	

【学校関係者評価】
 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。
 利用者の尊厳を守るケアを実習の中で学べる強みを親や高校の先生方へ伝達する方法をもっと検討してほしい。

(8) . 財務

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題及び改善策
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校部門は学生数の減少で厳しい状況であるが、法人全体では健全経営で財務基盤は安定している。まずは、本校単独の損益分岐点を目指し、学生数を増やしていきたい。併せて経費節減、特に光熱費の削減を計画的に実施したい。 ・法人として法令に従い情報公開している。
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	3	
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	4	
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	4	
【学校関係者評価】 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。			

(9) . 法令等の遵守

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題及び改善策
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検表で示すように法令を遵守し適正に運営している。 ・個人情報の中でも、成績管理についてはPC上で保存していない。 ・自己評価については、専修学校学校評価ガイドラインに沿って実施し、問題点の改善に努めてきた。自己点検表は学校HP上で公表を行っている。 ・成績以外の情報管理について甘さがある。早急に情報管理方法について検討していきたい。
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	3	
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4	
・自己評価結果を公開しているか	4	4	
【学校関係者評価】 自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。			

(10) . 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題及び改善策
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ禍により、例年行っているバスツアー、NPO法人主催の健康教室や、自主的な子育て講座などを実施することができなかった。しかしながら白鳥地区の方から、Zoomによるオンラインで狂俳の創作を指導して頂いたり、オンラインでスキルアップセミナーを開催したりするなど、新たな取り組みを行うことができた。今後も創意工夫した地域貢献を進めていきたい。 ・新型コロナ禍で昨年度は全くといっていいほど募集もなく、また積極的な参加も促すことができなかった。今後は新型コロナ禍においても学生が地域の中で学び、その学びをまた地域に還元できるような方法を考えていきたい。
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4	

<p>・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか</p>	4	4	<p>・社会人からの学生に対して離職者等委託訓練実施事業を実施している。介護職員または一般に向けたオンラインでスキルアップセミナーを開催した。</p> <p>・地域の高校（池田、揖斐）に対し、オンラインによる職業説明会を開催した。</p> <p>・景気の悪化につき、転職を考える社会人に対し転職セミナーを3回開催した。</p> <p>・新型コロナ禍の中でも本校の社会貢献の現状と展望を地域で中心的な立場にある方々に知って頂く機会をつくった。</p> <p>●岐阜労働局及びハローワーク（岐阜・大垣・揖斐）の担当者の本校への訪問の機会を作った。</p> <p>介護福祉士訓練生の授業参観とその後の交流を通して介護専門職の担う役割の大きさと本校の教育の社会的役割・社会貢献をご理解して頂けた。</p> <p>●本校の教員が出張講義に赴いている3つの高校の先生方（校長・教頭・福祉及び家庭科の担当教員など）に来訪頂いた。</p> <p>学生の第二の学び舎である施設（最先端の福祉現場）の見学を通して、これからの地域社会には介護とリハビリの連携が不可欠であり、それを実現していく人材育成は極めて重要であることを理解して頂けた。</p>
<p>【学校関係者評価】</p> <p>自己評価、現状、課題及び改善策に特段の問題はない。</p>			

(11) . 国際交流

評価項目	自己評価	関係者評価	現状、課題及び改善策
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	4	・留学生の受け入れは、次年度18名となり、目標の20名には達しなかった。
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	4	4	・岐阜・西濃地域の日本語学校と連携を図り、日本語能力と介護職に関する適性があると判断される者について受け入れを行う体制を整えている。
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	4	・留学生の支援・指導は、生活と学習の両面に対し、個別と集団を織り交ぜ行った。しかし、新型コロナ禍もあり想定通りにはいかず困難を極めた。今後はこれらを整理し、留学生の生活支援、学習支援について、その必要な支援の内容と量を明確にし、それぞれについて達成目標と方法、期日を教職員で共有することによって着実な業務遂行に努める。
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	該当せず		
<p>【学校関係者評価】</p> <p>自己評価、課題及び改善策に特段の問題はない。</p> <p>留学生の受け入れは、優秀な介護人材確保のみならず多様性の理解を進めるうえでも大変重要なことである。教育成果が上がるようお願いしたい。</p>			